

フラッシュ用外部電池アダプター

取扱説明書



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、誤った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、ソニーの相談窓口
に修理を依頼する
- 万一、異常が起きたら

本機が熱くなり
変な音、変なにおい、煙が出たら



- ① カメラとフラッシュの電源を切る。
- ② 接続コードをはずす。
- ③ 電池をはずす。
- ④ ソニーの相談窓口
に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・事故などにより死亡や大けがなど人身事故になることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



ぬれ手禁止



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



指示

お使いになる前に 必ずお読み ください

本機について

本機は外部電源用ターミナル搭載フラッシュ専用の外部電池アダプターです。

- お使いになる前に、お使いのフラッシュが本機に対応していることを確認してください。
- 本取扱説明書とあわせて、お使いのフラッシュの取扱説明書もご確認ください。

本機の取り扱いについてのご注意

本機は防じん・防滴に配慮した構造となっていますが、ほこりや水滴の浸入を完全に防ぐものではありません。雨中でのご使用はお避けください。

安全のために

火災や感電の原因となります。危険ですので、次のことにご注意ください。

- コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 絶対に自分で分解したり、改造やショートさせるようなことをしない。

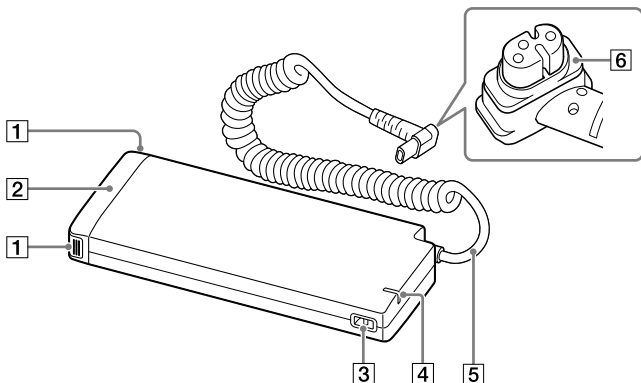
本体と付属品を 確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内の数字は個数です。

- フラッシュ用外部電池アダプター (1)
- バッテリーマガジン (1)
- ケース (1)
- 印刷物一式

各部の名称



① バッテリーマガジンロック解除ボタン

② バッテリーマガジン

③ ストラップ取り付け穴

④ チャージランプ

⑤ 接続コード

⑥ 防滴パッキン

HVL-F56AMに本機を接続する場合は、防滴パッキンを取りはずしてください。

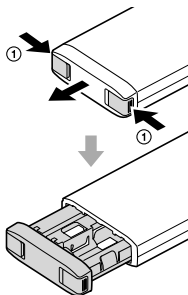
準備する

電池を入れる

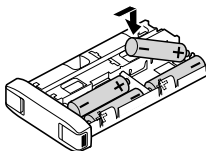
以下のいずれかの電池を使用します。

- 単3形アルカリ乾電池 4本または8本
 - 単3形ニッケル水素電池 (Ni-MH) 4本または8本
- 電池は同梱されていません。

- 1 バッテリーマガジンロック解除ボタンを矢印①の方向へ押しながらバッテリーマガジンを手前に引き出す。



- 2 電池室の表示(+)にしたがって、+側から電池を入れる。(⊖は乾電池の向きを示しています。)



- 電池は必ず+側から入れてください。
- 電池を抜くときは、ケース裏側から押し上げて抜いてください。
- 表面に4本、裏面に4本の電池を入れます。
表面または裏面のいずれかに4本の電池を入れた状態でも使うことができます。

- 3 バッテリーマガジンを戻し、カチッと音がするまで押し込む。

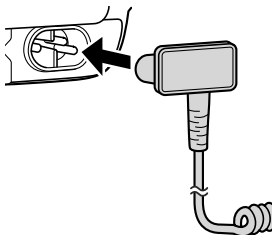
使用方法

本機は外部電源用ターミナル搭載フラッシュ専用の外部電池アダプターです。

お使いになる前に、お使いのフラッシュが本機に対応していることを確認してください。

1 フラッシュの電源スイッチをOFFにし、ターミナルキャップをはずす。

2 本機の接続コードのプラグを持って、フラッシュの外部電源ターミナルに差し込む。



- 本機が対応している機種については、Webでご確認ください。

3 フラッシュの電源スイッチをONにする。

- 本機使用時でも、フラッシュに電池を入れておいてください。(電池がないと使用できません。)

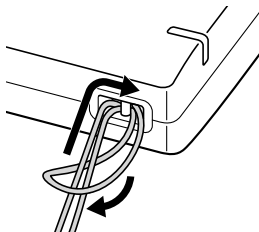
4 フラッシュ背面のTESTボタンがオレンジに点灯し、フラッシュの充電が完了したら撮影する。

- フラッシュの充電中は本機のチャージランプが点灯します。
- 短時間の繰り返し発光を行うと、内蔵の安全回路により発光制限が行われ、チャージランプが点滅して充電が止まります(オーバーヒート)。

この場合は本機の温度を下げるため、必ずフラッシュから本機を取りはずし、約10分間ご使用を休止してください。

- フラッシュの使用方法については、フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

本機は、ストラップ取り付け穴にストラップを取り付けて使用することもできます。



電池交換の目安

フラッシュの光量レベルを1/1に設定してテスト発光させ、フラッシュ背面のTESTボタンがオレンジに点灯し、充電完了になるまでの時間を計ります。充電時間が以下よりも長くなった場合は、フラッシュと本機の電池を同時に交換してください。

単3形アルカリ乾電池：30秒

単3形ニッケル水素電池：10秒

ご注意

- 充電時間が短くても、フラッシュの電池残量が少なくなると、フラッシュの液晶表示部に電池警告が表示されることがあります。この場合は、電池警告に従って、フラッシュの電池を交換してください。

使用上のご注意

■撮影上のご注意

- 本機と電池の過熱と劣化を防ぐため、連続発光を20回以上行わないでください。(光量レベル1/32の場合は、40回)制限回数まで連続発光した場合は、10分以上休止して自然冷却してください。
- フラッシュに本機を取り付けたまま、本機を持って持ち運ばないでください。故障の原因になります。
- バッテリーマガジンを装着するとき、指などをはさまないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

■電池について

- アルカリ乾電池は、温度や保管のしかたによっては、電池残量が実際の残量よりも低く検出され、フラッシュの電池警告表示が出ることがあります。このような場合でも、本機をしばらく使用すると電池残量が回復することがあります。

- ニッケル水素電池は、電池残量が残り少なくなると急激に性能が低下します。撮影中に突然フラッシュの電池警告表示のみが点滅して本機が使用できなくなったり、電池警告表示が点滅し始めてすぐに使用不可能になることもあります。
- リチウム乾電池は性能を十分に発揮できないことがあるため、ご使用にならないでください。
- 電池の製造後の経過期間により、新しい電池でも本機の発光間隔および発光回数が性能表と異なることがあります。
- 電池交換の際は、ご使用後、数分待ってから取り出してください。電池によっては、高温になっている場合があります。取り出す際はご注意ください。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取りはずして保管してください。

■使用温度について

- 本機の使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 急激な温度変化を与えると内部に水滴を生じる危険性があります。スキー場のような寒い屋外から暖かい室内に持ち込む場合は、屋外でビニール袋に入れ、袋の中の空気を絞り出して密閉します。その後室内に持ち込み、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 電池の性能は低温になるほど低下します。低温下では、新しい電池を使う、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使う、などの点に留意してご使用ください。また低温下では、電池の残量が残っていても一時的に電池警告表示が点滅することがあります。

なお低温のために性能が低下した電池でも、常温に戻せば性能は回復し再び使えるようになります。

■使用／保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■お手入れについて

柔らかい布でから拭きしてください。砂がついたときは、こすると傷を付けますので、ブロアーで軽く吹き飛ばしてください。汚れがひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いてから、もう一度から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

主な仕様

発光間隔／発光回数

HVL-F60RMと組み合わせ使用時

	アルカリ乾電池	ニッケル水素電池
発光間隔(秒)	約0.1～0.8	約0.1～0.6
発光回数(回)	約450以上	約660以上

- 発光回数とは、新しい電池で電池消耗までに発光できる回数を表します。

その他の仕様

定格：6 V 、2.6 W

動作温度：0℃～40℃

保存温度：-20℃～+60℃

外形寸法(幅×高さ×奥行き)(約)：77×174×23 mm

質量：約249 g (バッテリーマガジンのみを含む。電池含まず。)

取扱説明書に記載の機能は当社試験条件によります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

■保証は日本国内に限られています

本製品は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

■保証書

- この製品には保証書が添付されておりますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■アフターサービス

調子の悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 品名：FA-EBA1
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。

安全のために

(2ページも合わせてお読みください。)



火災

感電

下記の注意事項を守らないと、**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。

危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。

内部の点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この製品は防水構造にはなっていないので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにカメラとフラッシュの電源スイッチを切り、本機をはずしてください。ソニーの相談窓口にご相談ください。



禁止

本機を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない
火災や感電の原因になることがあります。



禁止

落下などで、外装ケースなどが破損したときは、絶対に露出部分に触れない

感電の原因となることがあります。



接触禁止

万一、使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、すみやかに電池を抜き、使用を中止する

放置すると火災や火傷の原因となります。



接触禁止

可燃性/爆発性ガスのある場所で使用しない



禁止

電池の外装チューブがはがれたり、傷がついている電池は絶対に使用しない

漏液・発熱・破裂の原因となることがあります。



禁止



下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

ぬれた手で本機をさわらない

感電の原因となることがあります。ぬれ手禁止



ぬれ手禁止

製品および同梱物を、乳幼児の手の届く範囲に放置しない

幼児の手の届かない場所に置き、口に入れないよう注意する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置いたり、不安定な状態で設置すると、製品が落ちてけがの原因となることがあります。



禁止



電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をお守りください。



禁止

- 火の中に入れない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- ショートさせたり改造、分解しない。
- コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそば、炎天下、高温になった車の中などで放置したりしない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。



禁止

- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり落下させるなどの強い衝撃を与えない。
- 幼児の手の届かない場所に置き、口に入れないよう注意する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 指定された種類の電池を使用する。



禁止



指示

- 乾電池は充電しない。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- +と-の向きを正しく入れる。
- 古い電池と新しい電池、種類、メーカーの異なる電池は一緒に使わない。



Ni-MH

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクル およびリサイクル協力店について

一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.com/>
を参照してください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル

..... **0120-333-020**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

..... **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル

..... **0120-222-330**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

..... **050-3754-9599**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談は
こちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「402」+「#」 を押してください。直接、担当窓口へおつながります。

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

